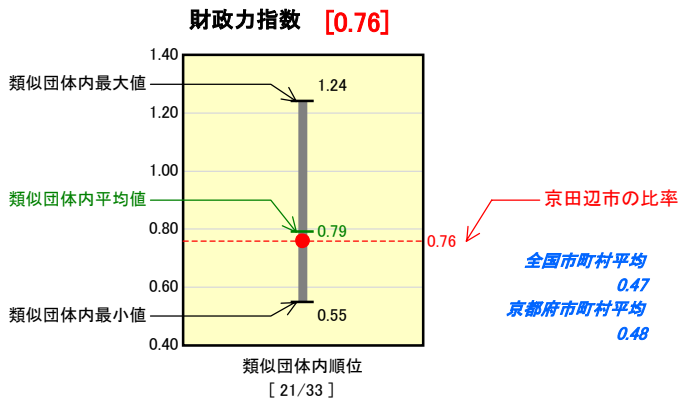


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

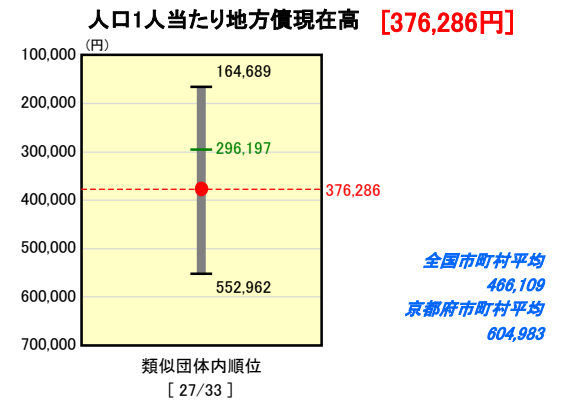
## 京都府 京田辺市

人口	59,479人(H17.3.31現在)
面積	42.94 km <sup>2</sup>
歳入総額	21,813,221千円
歳出総額	21,583,822千円
実質収支	118,952千円

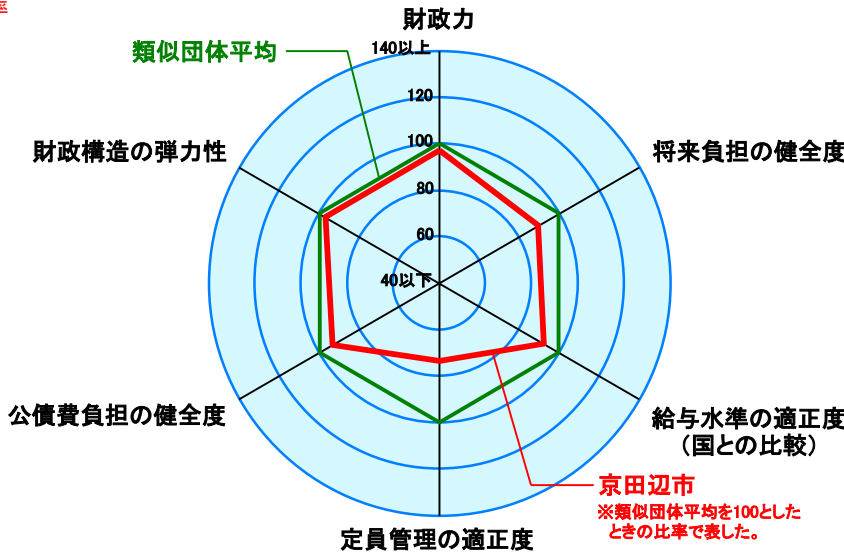
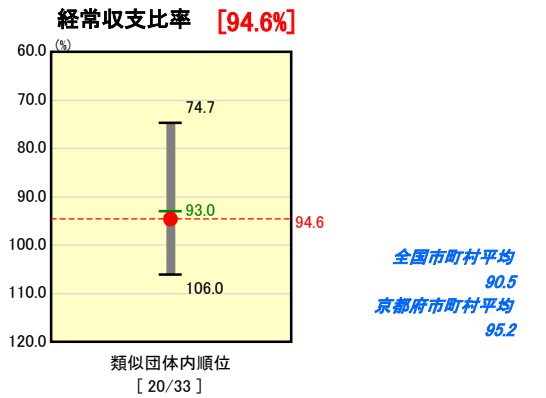
### 財政力



### 将来負担の健全度

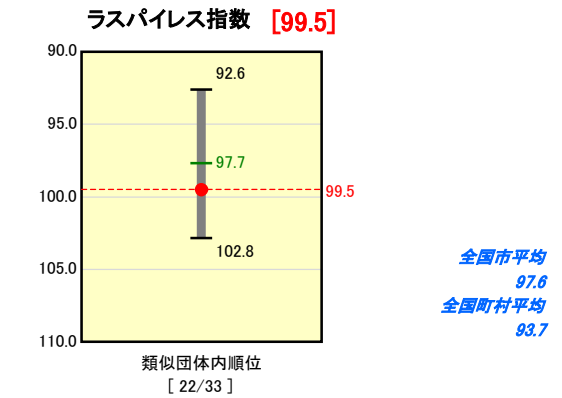


### 財政構造の弾力性

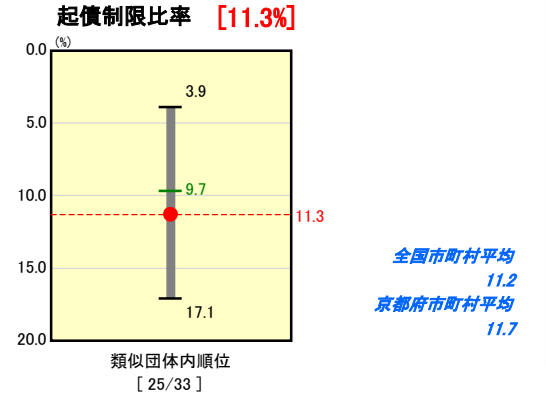


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



**分析欄**

【財政力指数】  
人口増や宅地開発等により市税が増加し、指数は過去5年で0.07増加している。今後は産業立地施策の推進等、新たな財源確保に努め、財政基盤の強化を図る。

【経常収支比率】  
繰出金、公債費等の伸びにより、94.6%と類似団体平均を上回っている。今後は特別会計繰出基準の見直し等、経常的経費の削減に努める。

【起債制限比率】  
近年実施した都市基盤整備や生活環境整備により、地方債発行額が増加している。今後策定予定の財政健全化計画にしたがって地方債発行額を抑制し、指数の改善を図る。

【人口1人当たり地方債現在高】  
近年の投資的経費の増加により、過去5年で約1.3倍に増加している。今後は投資的経費を削減し、地方債発行を抑制する。

【ラスパイレス指数】  
全国市平均を1.9、類似団体平均を1.8上回っている。今後は給与体系を見直し、指数の適正化を図る。

【人口1,000人当たり職員数】  
幼稚園、保育所やごみ処理業務等を直営で実施し、他団体の消防救急業務を委託しており、類似団体平均を上回っている。組織再編や民間委託等を進め、17年度を基準とし、22年度までに職員数を10%削減することを目標とする。

### 定員管理の適正度

